

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473500708	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	株式会社 ケアネット徳洲会			
事業所名	グループホーム 湘南かさま			
所在地	(247-0006) 横浜市 栄区 笠間 3 - 2 0 - 2 7			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成21年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月12日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473500708&SCD=320>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人グループとの連携を取り、「看取り」までの介護を安心して受けて頂いております。ご入居者様が、穏やかな日々を送れるよう、管理者以下職員全員が、ご入居者様の個々の目線に合わせた良質のサービスを目指し、御入居者様の意思を尊重した生活支援を行っております。地域との交流にも積極的に参加を行っております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケア双ファースト 3階		
訪問調査日	平成21年12月17日	評価機関 評価決定日	平成22年2月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

開設3年目になるホームですが、以下の点でホームとしての質の向上が見られます。

法人経営による利点を生かしています。契約書、重要事項説明書などの各種書類、マニュアルがよく整備されています。また、各種研修も法人ベースで計画的に行われ、法人ノウハウの活用と支援がされています。

「看取り」についての方針から実施までの体制づくりが出来ています。入所時の「看取り指針」の説明から始まって「看取り確認書」まで看取りについて一貫したシステムが構築されています。

各ご利用者毎に「気づきシート」をもうけ、その日その日に気づいたことを職員だれでもが記入できるようにしています。このシートを全体ミーティングやケアプラン作成・更新時の資料として有効に活用しています。

医療機関・医師との連携がよく取れています。かかりつけ医・協力医療機関・訪問看護などへのホームの対応体制が整備されています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 湘南かさま
ユニット名	1 ユニット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎朝の朝礼時に、皆で復唱をし確認を行っています。</p> <p>職員間の教育の中で理念の意義を話し合い伝えています。</p>	<p>入居者様本位の、入居者様の目線に合わせた良質のサービスを提供します」という法人理念を毎朝朝礼時昭和し、確認しています。地域密着については理念に謳われていませんがその意義はよく理解して実践しています。</p>	<p>法人理念とは別に地域密着型サービスの意義や役割を考えながら事業所独自の理念も検討追加される事も期待されます。</p>
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事・夏祭り等に参加を行い、ホーム前の歩道には花壇を作り利用者と一緒に花を植え・水やりなどを行っています。自立支援事業者によるパンの販売時の時も交流を行っています。</p>	<p>左記の他に、保育所の運動会、夜店に参加しています。近隣の自立支援事業所との交流も、ハロウィンのお誘いがあつたり、お茶を飲みに行ったりとつきあいは広がっています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>定期的に運営推進委員会を行い地域の方に認知症の理解・支援を行っている。地域の高齢者の支援に繋がって行けるように努力をしています。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一度の運営推進委員会に、町内会の代表・民生員・行政の代表にて話し合い入居者様のより良い環境を目指しています。</p>	<p>今年度は3回開催しています。今後は2ヶ月1回開催を目指しています。ごみ処理など町会の要望・助言など活動報告以外のテーマを増やしていく意向です。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者には運営推進委員会に参加をして頂き、施設の現状を把握して頂きながら、より良い環境のご提案を頂いております。</p>	<p>運営推進会議を通じての関係を主としていますが、次回からは区の保健士、高齢福祉課ケースワーカーが参加予定で、区からの参加機会を増やし連携を強めていく意向です。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>各委員会活動に安全対策委員会を設け、日頃のケアの中で、拘束・虐待に関して話し合い、朝礼時、全体ミーティングの中で、職員間には周知徹底を行っております</p>	<p>身体拘束のマニュアルがあり、職員全員が理解しています。居室等は鍵をかけていませんが、玄関は、出た所が、国道で交通量が多く危険な為、安全を考えて、暗証番号式の鍵をかけています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束マニュアルを作成をし、朝礼時・全体ミーティング時などに職員間で話し合い、御利用者の尊厳あるケアを大切にし、支援を行っています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を設け研修に参加して行く所存です。ご家族様には必要に応じて説明を行っています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族・御本人には入居する前にホームの見学をして頂き、契約時にホームの理念・方針を十分説明し、納得をして頂いております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族としての御意見を伺う為、アンケートや家族会を実施しております。運営推進委員会には御家族の代表・利用者の代表が出席をし意見を伺っています。</p>	<p>法人で定期的に接遇やサービス内容について利用者、家族、職員対象にアンケートを行って反映を図っています。家族会は2ヶ月に1回開催しており、7～8割のご家族が毎回参加し、要望を聞いています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の自由な意見を聞く為に、目安箱を設置をし、全体ミーティング等で意見を意見を取り入れ反映しています。	全体ミーティングは月1回開催し、その際にメール目安箱に入っている意見の検討を行っています。職員の就業環境の改善などに反映させています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップ評価を行い、半年に1度管理者と個々の職員との面談を行い責任とやりがいを持つ事でモチベーションと質の向上に努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ評価を通して個々の力量を把握し 職員に合わせた研修に参加させることで専門性を高める努力をしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全国認知症グループホーム協会・横浜市グループホーム連絡会に加入をし、情報交換などネットワークを作りケアの向上に活かしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には利用者の気持ちを十分傾聴をし、なじみの関係を築けるよう工夫をし、利用者との信頼に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話しやすい関係作りに努め、会話の中から我々に何を求めているかを把握をし、一緒に考え納得して頂いております。			
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御家族・御本人に極め細かいアセスメントを通じて、対応の見極めを行い、希望する他のサービスにも対応を行っております。			
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は一緒に行ってもらい、個々に合わせた会話を第一に考え信頼関係を築けるように努力しております。			
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一番大事な家族との絆を、第一に考え常に家族と連絡をとり合えるように努め、支援を行っています。			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族の協力を頂き馴染みの場所に外出して頂いたり、手紙・電話等の対応を行っています。	利用者との話から馴染みの場所を聞き、可能な場合はお墓参り、おしるこ屋等にも一緒に出かけています。また昔からの友人に訪問してもらい、買物、食事等に一緒に出かけたりもしていません。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立防止をし、入居者一人一人が共に支え合う環境作りに努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御家族の希望に応じて対応を行っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員が本人の視点にたった意見を出し合い把握をし、カンファレンスで共有をし支援を行っています。	「気づきシート」に職員がいつでも、利用者のことで気づいたことを、出来るだけ利用者の言葉で記入し、これを基にカンファレンスで一人ひとりの希望や意向の把握をしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族等に生活歴をアセスメントをし、日々の生活で活用しながら尊厳を守る支援を行っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	笑顔が出る様に創意工夫をし、接する時間を多く設けて職員間で情報交換を徹底して行い支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプラン作成前に担当者・ケアマネは、カンファレンスを定期的に行い入居者の意向を重視した介護計画を実施しています。</p>	<p>ケアマネージャーと職員全員でカンファレンスを定期的に行ない、本人の希望をとり入れた介護計画を作成しています。また3ヶ月毎にモニタリングを行ない、見直しをしています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日一人ひとりの日常生活を記録し体調の変化などを見極め職員間・訪問看護とで、情報共有を行い入居者様の健康管理に努めています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>柔軟な支援やサービスの多機能化に取む手段として、訪問看護・訪問マッサージ・音楽療法等を取り入れ行っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会の行事・入居者様の希望に応じてレストラン等の外出・外食の支援も行っています。地域との交流は出来るだけ多く参加出来るような支援を行っています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>職員が付き添い定期的に医療機関へ受診をしている。 入所以前からのかかりつけ医の利用者には家族対応での受診もしております。</p>	<p>以前からのかかりつけ医を継続されている利用者には家族対応で受診してもらい、協力医療機関を受診する場合は職員が付き添っています。訪問歯科も定期的に利用しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護を利用し看護記録を通じて介護職と看護職との関係を密にし、健康管理を行っています。急変時には、指示を仰いでいます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時、医療機関との連絡を密に取り、入居者様の体調の変化状況を把握をし退院後は医療との連携を取り支援を行っています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の終末期を向かえるに当たり御家族との連絡を早期に取り、状況の変化の際は、御家族との話し合いを何度も行っています。</p>	<p>入居時に「看取り指針」の説明をし、同意を得ています。重度化した場合には、医師、訪問看護師、家族、管理者等で、話し合いを持ち、看取りを希望する場合には「看取り確認書」に同意をもらっています。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時マニュアルに基づき、実践力を身につけるよう努力を行っています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者様・職員がスムーズに避難出来るように訓練を行うと共に、地域の防災訓練に参加しています。</p>	<p>年2回の消防署参加の避難訓練の他、2カ月に1回のペースで、利用者、職員で災害を想定した自主避難訓練を行っています。自治会の防災訓練には年1回参加しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳・自尊心を傷つけない声かけの配慮、プライバシーの確保・守秘義務の徹底を申し送りの際に職員間まず周知徹底をして行っております。	朝の申し送りで、トイレ誘導や着替えの際にプライバシーを損ねないように声かけをする等を徹底しています。プライバシーの研修を法人で定期的に行なっています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が言葉では、十分意思表示出来ない場合は、傾聴をし、表情や全身での反応をキャッチし、支援を行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ見守りを行い、その状態に合わせて自己決定の出来る支援を大切に行っています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事等の時利用者の意思を確認をし、化粧などおしゃれが楽しめる様に支援を行っています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理等の作業に参加をし、職員と協力し盛り付け、配膳も手伝って頂き、食事が楽しいものになるように支援を行っています。	食事の下ごしらえ、配膳、下膳、食器洗い等職員と一緒にしています。職員も食事介助をしながら、利用者と一緒に食事をし、楽しい雰囲気作りに努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた食事を提供をし、水分量チェックを行い、水分量の確保をしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを利用者の自立度に合わせ、毎食後自発的に行えるよう支援をし、入居者の自立度に応じた支援を行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握をし、トイレ誘導を行っています。	排泄チェック表で一人ひとりの排泄パターンを把握し、個別にトイレ誘導をしています。おむつをしている人が一人いますが、トイレ誘導をしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を心がけ工夫をし水分の摂取量や運動を心がけ、原因を見極め薬に頼らないように支援を行っています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の生活習慣を維持出来るように、また、自己決定を大切にする支援を行っています。	週2回曜日を決めています。時間帯は希望に合わせて、朝や寝る前にも対応しています。毎日入浴している利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠までの時間を穏やかに過ごして頂けるように、安心して眠れる環境を整えられるよう支援を行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居様が服薬している薬の目的・副作用を理解をし、異変を見逃さない服薬支援に努めております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力に合った役割を持って頂き気分転換の為に、散歩等の外出支援を行っています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望に添って個々の外出支援を行い、友人・家族の協力も得ながら墓参りや買い物等も行って頂いております。	お天気の良い日は午後から近くの公園に鳥や鯉を見に、車椅子の利用者も一緒に出かけしています。墓参り、買物、外食等は家族に協力してもらっています。	年1回介護タクシーを利用して全員で外出していますが、利用者の希望も踏まえ、さらなる全員で出かける機会が持てることが期待されます。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の了解のもと全員のおこづかい程度の金額を自分で管理出来るよう支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望に応じて、家族・友人との連絡・手紙のやり取りを行っています。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	相性の良い人との席の配置を考慮し、快適な空調管理を行い心地よく暮らせる環境作りを行っています。	居間兼食堂は、窓が多く明るく居心地よいため、ご利用者がいつも集まり、スタッフと会話を楽しんでいます。幹線道路に面していますが、騒音もほとんど気になりません。空調管理もこまめに行っています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性の良い人との席の配置の考慮を行っています。個々のペースに合わせ心地良い場所で過ごして頂けるよう努力しております。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人のなじみの家具など入所時用意をして頂き、環境の変化に伴う混乱を最小限に抑える工夫を行っています。	各個室とも馴染みの家具を入れて利用者が居心地良く、暮らしやすくなっています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リスクマネジメントマニュアルの活用とリスクマネジメント研修参加を行い職員間での周知徹底を行っています。			

事業所名	グループホーム 湘南かさま
ユニット名	2 ユニット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に、皆で復唱をし確認を行っています。 職員間の教育の中で理念の意義を話し合い伝えています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事・夏祭り等に参加を行い、ホーム前の歩道には花壇を作り利用者と一緒に花を植え・水やりなどを行っています。自立支援事業者によるパンの販売時の時も交流を行います。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的に運営推進委員会を行い地域の方に認知症の理解・支援を行っている。地域の高齢者の支援に繋がって行けるように努力をしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進委員会に、町内会の代表・民生員・行政の代表にて話し合い入居者様のより良い環境を目指しています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には運営推進委員会に参加をして頂き、施設の現状を把握して頂きながら、より良い環境のご提案を頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>各委員会活動に安全対策委員会を設け、日頃のケアの中で、拘束・虐待に関して話し合い、朝礼時、全体ミーティングの中で、職員間には周知徹底を行っております</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束マニュアルを作成をし、朝礼時・全体ミーティング時などに職員間で話し合い、御利用者の尊厳あるケアを大切に、支援を行っています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を設け研修に参加して行く所存です。ご家族様には必要に応じて説明を行っています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族・御本人には入居する前にホームの見学をして頂き、契約時にホームの理念・方針を十分説明し、納得をして頂いております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族としての御意見を伺う為、アンケートや家族会を実施しております。運営推進委員会には御家族の代表・利用者の代表が出席をし意見を伺っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の自由な意見を聞く為に、目安箱を設置をし、全体ミーティング等で意見を意見を取り入れ反映しています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップ評価を行い、半年に1度管理者と個々の職員との面談を行い責任とやりがいを持つ事でモチベーションと質の向上に努めております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ評価を通して個々の力量を把握し、職員に合わせた研修に参加させることで専門性を高める努力をしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全国認知症グループホーム協会・横浜市グループホーム連絡会に加入をし、情報交換などネットワークを作りケアの向上に活かしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には利用者の気持ちを十分傾聴をし、なじみの関係を築けるよう工夫をし、利用者との信頼に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話しやすい関係作りに努め、会話の中から我々に何を求めているかを把握をし、一緒に考え納得して頂いております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御家族・御本人に極め細かいアセスメントを通じて、対応の見極めを行い、希望する他のサービスにも対応を行っております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は一緒に行ってもらい、個々に合わせた会話を第一に考え信頼関係を築けるように努力しております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一番大事な家族との絆を、第一に考え常に家族と連絡をとり合えるように努め、支援を行っています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族の協力を頂き馴染みの場所に外出して頂いたり、手紙・電話等の対応を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立防止をし、入居者一人一人が共に支え合う環境作りに努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御家族の希望に応じて対応を行っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員が本人の視点にたった意見を出し合い把握をし、カンファレンスで共有をし支援を行っています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族等に生活歴をアセスメントをし、日々の生活で活用しながら尊厳を守る支援を行っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	笑顔が出る様に創意工夫をし、接する時間を多く設けて職員間で情報交換を徹底して行い支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成前に担当者・ケアマネは、カンファレンスを定期的に行い入居者の意向を重視した介護計画を実施しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日一人ひとりの日常生活を記録し体調の変化などを見極め職員間・訪問看護とで、情報共有を行い入居者様の健康管理に努めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援やサービスの多機能化に取む手段として、訪問看護・訪問マッサージ・音楽療法等を取り入れ行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事・入居者様の希望に応じてレストラン等の外出・外食の支援も行っています。地域との交流は出来るだけ多く参加出来るような支援を行っています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員が付き添い定期的に医療機関へ受診をしている。 入所以前からのかかりつけ医の利用者には家族対応での受診もしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護を利用し看護記録を通じて介護職と看護職との関係を密にし、健康管理を行っています。急変時などには、指示を仰いでいます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時、医療機関との連絡を密に取り、入居者様の体調の変化状況を把握をし退院後は医療との連携を取り支援を行っています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の終末期を向かえるに当たり御家族との連絡を早期に取り、状況の変化の際は、御家族との話し合いを何度も行っています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時マニュアルに基づき、実践力を身につけるよう努力を行っています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者様・職員がスムーズに避難出来るように訓練を行うと共に、地域の防災訓練に参加しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳・自尊心を傷つけない声かけの配慮、プライバシーの確保・守秘義務の徹底を申し送りの際に職員間まず周知徹底をして行っております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が言葉では、十分意思表示出来ない場合は、傾聴をし、表情や全身での反応をキャッチし、支援を行っています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ見守りを行い、その状態に合わせて自己決定の出来る支援を大切に行っています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事等の時利用者の意思を確認をし、化粧などおしゃれが楽しめる様に支援を行っています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	料理等の作業に参加をし、職員と協力し盛り付け、配膳も手伝って頂き、食事が楽しいものになるように支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた食事を提供をし、水分量チェックを行い、水分量の確保をしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを利用者の自立度に合わせ、毎食後自発的に行えるよう支援をし、入居者の自立度に応じた支援を行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握をし、トイレ誘導を行っています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を心がけ工夫をし水分の摂取量や運動を心がけ、原因を見極め薬に頼らないように支援を行っています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の生活習慣を維持出来るように、また、自己決定を大切にする支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠までの時間を穏やかに過ごして頂けるように、安心して眠れる環境を整えられるよう支援を行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居様が服薬している薬の目的・副作用を理解をし、異変を見逃さない服薬支援に努めております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力に合った役割を持って頂き気分転換の為に、散歩等の外出支援を行っています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望に添って個々の外出支援を行い、友人・家族の協力も得ながら墓参りや買い物等も行って頂いております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の了解のもと全員のおこづかい程度の金額を自分で管理出来るよう支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望に応じて、家族・友人との連絡・手紙のやり取りを行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	相性の良い人との席の配置を考慮し、快適な空調管理を行い心地よく暮らせる環境作りを行っています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性の良い人との席の配置の考慮を行っています。個々のペースに合わせ心地良い場所で過ごして頂けるよう努力しております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人のなじみの家具など入所時用意をして頂き、環境の変化に伴う混乱を最小限に抑える工夫を行っています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リスクマネジメントマニュアルの活用とリスクマネジメント研修参加を行い職員間での周知徹底を行っています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・ 全員または、個別の外出が少ない。	・ 全員での外出を半年に一回行う。 ・ 個別の外出支援を行う。	・ 家族会で提案し、同意を得た上で、ご家族参加の、全体での外出支援を具体的に計画し、実行する。 ・ 御本人の希望を重視し、個別の外出支援を行っていく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。